

山 剣 連 第 2 0 2 号
令和 2 年 1 2 月 2 2 日

各地区剣道連盟会長 殿

(一財) 山口県剣道連盟
会長 茨 木 貴
[公印省略]

「第 6 8 回全日本剣道選手権大会、第 5 9 回全日本女子剣道選手権大会」
出場決定戦**要項の一部変更**について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から、当剣連の事業運営等に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1 1 月 1 6 日付けで「第 6 8 回全日本剣道選手権大会」「第 5 9 回全日本女子剣道選手権大会」出場決定戦の開催要項を発出したところですが、全日本剣道連盟から本大会の要項について変更通知がありましたので、同通知を踏まえて出場決定戦を一部変更して実施することとしましたので出場者への徹底をお願いいたします。

なお、**変更点等は、要項のゴシック（二重線）の部分です。**

※重要な変更点

《男女共通》

- 1 試合では、口鼻を覆う面マスクの着用及び口元を覆うシールドを着用
- 2 新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判方法により実施
各要項「6 試合方法及び選手選出方法(1)」参照

[本大会の名称、開催日、開催場所]

1 名称

第 6 8 回全日本剣道選手権大会、第 5 9 回全日本女子剣道選手権大会

2 開催日

令和 3 年 3 月 1 4 日(日)

※前日(3 月 1 3 日(土) 1 4 : 0 0 ~)の選手打合せ会に出席する。

出発：3 月 1 2 日(金) 帰県：3 月 1 5 日(月)の予定

3 開催場所

長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」

(所在 長野県長野市真島町真島 2 2 6 8 - 1)

別添 1

「第68回全日本選手権大会」出場決定戦実施要項（一部変更）

1 開催日時

令和3年1月24日(日) 9時30分(開会式)

※受付時間 8時40分から9時10分の間

2 開催場所

維新百年記念公園 維新大晃アリーナ レクチャールーム

山口市維新公園4-1-1 TEL083-922-2754

3 主催

一般財団法人山口県剣道連盟

4 出場選手資格

- (1) 山口県剣道連盟の登録会員であり、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。

出場者は、令和2年4月30日以前から本大会参加時まで引き続き当剣道連盟の登録会員であること。

- (2) 年齢は、満20歳以上とし、段位の制限はしない。

(年齢計算は、本大会前日の令和3年3月13日を基準とし、平成13年3月13日以前に生まれた者)

- (3) 本決定戦出場は、1カ所とする。(他都道府県の決定戦への出場は不可・違反者は出場を取り消す。)

5 試合の組合せ

当剣道連盟事業委員会で決定する。

6 試合方法及び選手選出方法

- (1) (一財)全日本剣道連盟剣道試合審判規則・同細則、同運営要領、全日本剣道連盟の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」並びに本大会実施要項による。

※新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判方法抜粋

① 試合者は、鏝競り合いになった瞬間に技が出ない場合は、積極的に分かれる努力をする。

② 相互に分かれようとしている途中の打突は有効打突とはしない。場合によっては合議の上、反則を適用する。特に一方が分かれようとしている場合に追い

込んで打突する場合や分かれようと思せかけて打突する場合等

③ どちらか一方が分かれようとしな、或いは分かれようとしている相手に接近していく行為が見られた場合は合議の上、反則を適用する。

④ 意図的な「時間空費」「防御姿勢（勝負の回避）」による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り合議の上、反則を適用する。

※ 上段に対しても、平正眼、霞の構えで攻防するようになるが、防御姿勢（勝負の回避）、時間空費と判断すれば、反則となり得る。相上段についても同様。

※ 接触して下がるふりや、瞬間の間をおいて引き技打つことは、反則の対象となる。

※ 分かれる間合いは完全に竹刀と竹刀が触れ合わない間合いとする。そこを曖昧にする行為は反則となる。

(2) 試合方式は、トーナメント戦方式により優勝、準優勝、第3位(3位決定戦を実施)を決定する。

(3) 試合は3本勝負とし、試合時間は5分とする。

試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本を取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、**延長3回で1回**

5分の休憩を取り勝負の決するまで継続する。

7 剣道用具の取り扱い

参加選手は、「別記 剣道用具の規定」の基準に従った剣道用具を使用すること。

当日、竹刀検量を行うこととするが、試合前には、竹刀の再点検を確実にを行い、破損等で安全性が保てないものは使用しないこと。

8 表彰

優勝者、準優勝者を表彰する。

9 参加申込み

(1) 全日本剣道選手権出場決定戦出場の申込みは、別添1-1「全日本剣道選手権出場決定戦参加申込書」及び「参加料」(1,000円)を添えて各地区剣道連盟に提出してください。

(2) 各地区剣道連盟は、参加申込書、参加料をとりまとめ令和3年1月12日(火)までに県剣道連盟事務局に送付(FAX、メール可)してください。(期限を厳守してください。)

参加料は、郵便振替で送金してください。(期限を厳守して下さい。)

口座番号 01550-3-3820

加入者名 (一財) 山口県剣道連盟

10 安全対策

(1) 新型コロナウイルス対策

① 選手は、主催大会実施にあたってのガイドラインに従い鼻と口を確実に覆う面マスク及び口元を覆うシールドを着用すること。

② 参加選手は、「別紙 参加者チェック表」に氏名、住所、電話番号、参加当日測定した体温等の必要事項を記載、確認事項のチェックを行い、受付時に提出すること。なお、「参加見合わせ事項」に該当する場合は、参加を見合わせることに。

(2) 一般的安全対策

参加者は、各自十分健康管理に留意して本大会に出場してください。

主催者においては試合中に傷害等が発生した場合は応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は個人負担とする。

なお、主催者は本大会の出場者に対し傷害保険に加入（本大会会場への往復途上は含まない。）する。※入院：日額5,000円 通院：日額3,000円

参加者は健康保険証を持参のこと。

11 個人情報保護法の対応

申込書に記載される個人情報は、山口県剣道連盟が実施する本大会の運営及びホームページへの掲載、報道に対する試合結果の提報等のため利用する。

別添 2

「第59回全日本女子剣道選手権大会」出場決定戦実施要項（一部変更）

1 開催日時

令和3年1月24日(日) 9時30分(開会式)

※受付時間 8時40分から9時10分の間

2 開催場所

維新百年記念公園 維新大晃アリーナ レクチャールーム

山口市維新公園4-1-1 TEL083-922-2754

3 主催

一般財団法人山口県剣道連盟

4 出場選手資格

- (1) 山口県剣道連盟の登録会員であり、全日本剣道連盟会員規則に適合している女子。

出場者は、令和2年4月30日以前から本大会参加時まで引き続き当剣道連盟の登録会員であること。

- (2) 年齢は、満18歳以上とし、段位の制限はしない。

(年齢計算は、令和3年4月1日を基準とし、平成15年4月1日以前に生まれた者)

- (3) 本決定戦出場は、1カ所とする。(他都道府県の決定戦への出場は不可・違反者は出場を取り消す。)

5 試合の組合せ

当剣道連盟事業委員会で決定する。

6 試合方法及び選手選出方法

- (1) (一財)全日本剣道連盟剣道試合審判規則・同細則、同運営要領、全日本剣道連盟の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」並びに本大会実施要項による。

※新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判方法抜粋

① 試合者は、鏝競り合いになった瞬間に技が出ない場合は、積極的に分かれる努力をする。

② 相互に分かれようとしている途中の打突は有効打突とはしない。場合によっては合議の上、反則を適用する。特に一方が分かれようとしている場合に追い

込んで打突する場合や分かれようと思わせかけて打突する場合等

③ どちらか一方が分かれようとしないうち、或いは分かれようとしている相手に接近していく行為が見られた場合は合議の上、反則を適用する。

④ 意図的な「時間空費」「防御姿勢（勝負の回避）」による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り合議の上、反則を適用する。

※ 上段に対しても、平正眼、霞の構えで攻防するようになるが、防御姿勢（勝負の回避）、時間空費と判断すれば、反則となり得る。相上段についても同様。

※ 接触して下がるふりや、瞬間の間をおいて引き技打つことは、反則の対象となる。

※ 分かれる間合いは完全に竹刀と竹刀が触れ合わない間合いとする。そこを曖昧にする行為は反則となる。

(2) 試合方式は、トーナメント戦方式により優勝、準優勝、第3位(3位決定戦を実施)を決定する。

(3) 試合は3本勝負とし、試合時間は5分とする。

試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本を取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分の休憩を取り勝負の決するまで継続する。

7 剣道用具の取り扱い

参加選手は、「別記 剣道用具の規定」の基準に従った剣道用具を使用すること。

※竹刀の基準は、大学生・一般の長さ、重さ、太さとする。

当日、竹刀検量を行うこととするが、試合前には、竹刀の再点検を確実にを行い、破損等で安全性が保てないものは使用しないこと。

8 表彰

優勝者、準優勝者を表彰する。

9 参加申込み

(1) 全日本女子剣道選手権出場決定戦出場の申込みは、別添2-1「全日本女子剣道選手権出場決定戦参加申込書」及び「参加料」（1,000円）を添えて各地区剣道連盟に提出してください。

(2) 各地区剣道連盟は、参加申込書、参加料をとりまとめ令和3年1月12日（火）までに県剣道連盟事務局に送付（FAX、メール可）してください。（期限を厳守してください。）

参加料は、郵便振替で送金してください。（期限を厳守して下さい。）

口座番号 01550-3-3820

加入者名 (一財) 山口県剣道連盟

10 安全対策

(1) 新型コロナウイルス対策

① 選手は、主催大会実施にあたってのガイドラインに従い鼻と口を確実に覆う面マスク及び口元を覆うシールドを着用すること。

② 参加選手は、「別紙 参加者チェック表」に氏名、住所、電話番号、参加当日測定した体温等の必要事項を記載、確認事項のチェックを行い、受付時に提出すること。なお、「参加見合わせ事項」に該当する場合は、参加を見合わせることに。

(2) 一般的安全対策

参加者は、各自十分健康管理に留意して本大会に出場してください。

主催者においては試合中に傷害等が発生した場合は応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は個人負担とする。

なお、主催者は本大会の出場者に対し傷害保険に加入（本大会会場への往復途上は含まない。）する。※入院：日額5,000円 通院：日額3,000円

参加者は健康保険証を持参のこと。

11 個人情報保護法の対応

申込書に記載される個人情報は、山口県剣道連盟が実施する本大会の運営及びホームページへの掲載、報道に対する試合結果の提報等のため利用する。

別添 1 - 1

全日本剣道選手権大会出場決定戦申込書

称 号	士	ふりがな	
段 位	段	氏 名	
生年月日	S・H	年 月 日 (歳)	令和3年3月13日時点
住 所	〒	電話	- -
所属剣連			剣道連盟
職 業	職業		会社等名称

別添 1 - 1

全日本剣道選手権大会出場決定戦申込書

称 号	士	ふりがな	
段 位	段	氏 名	
生年月日	S・H	年 月 日 (歳)	令和3年3月13日時点
住 所	〒	電話	- -
所属剣連			剣道連盟
職 業	職業		会社等名称

別添 2 - 1

全日本女子剣道選手権大会出場決定戦申込書

称 号	士	ふりがな	
段 位	段	氏 名	
生年月日	S・H	年 月 日 (歳)	令和3年4月1日時点
住 所	〒	電話	- -
所属剣連			剣道連盟
職 業	職業		会社等名称

別添 2 - 1

全日本女子剣道選手権大会出場決定戦申込書

称 号	士	ふりがな	
段 位	段	氏 名	
生年月日	S・H	年 月 日 (歳)	令和3年4月1日時点
住 所	〒	電話	- -
所属剣連			剣道連盟
職 業	職業		会社等名称

別記 剣道用具の規定

出場選手は、剣道用具について、下記事項を厳守すること。

1 竹刀の長さ、重さ、太さについては、下記「表1」、「表2」のとおり

表1 竹刀の基準（一刀の場合）

		対象	中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通		114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女性		400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 竹刀の基準（二刀の場合）

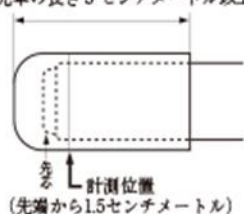
		対象	大学生・一般	
			大 刀	小 刀
長さ	男女共通		114センチメートル以下	62センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上	280~300グラム
	女性		400グラム以上	250~280グラム
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

※ ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものは使用不可

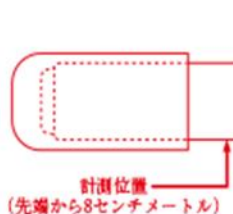
2 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとうの直径値の測定方法(下図参照)

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



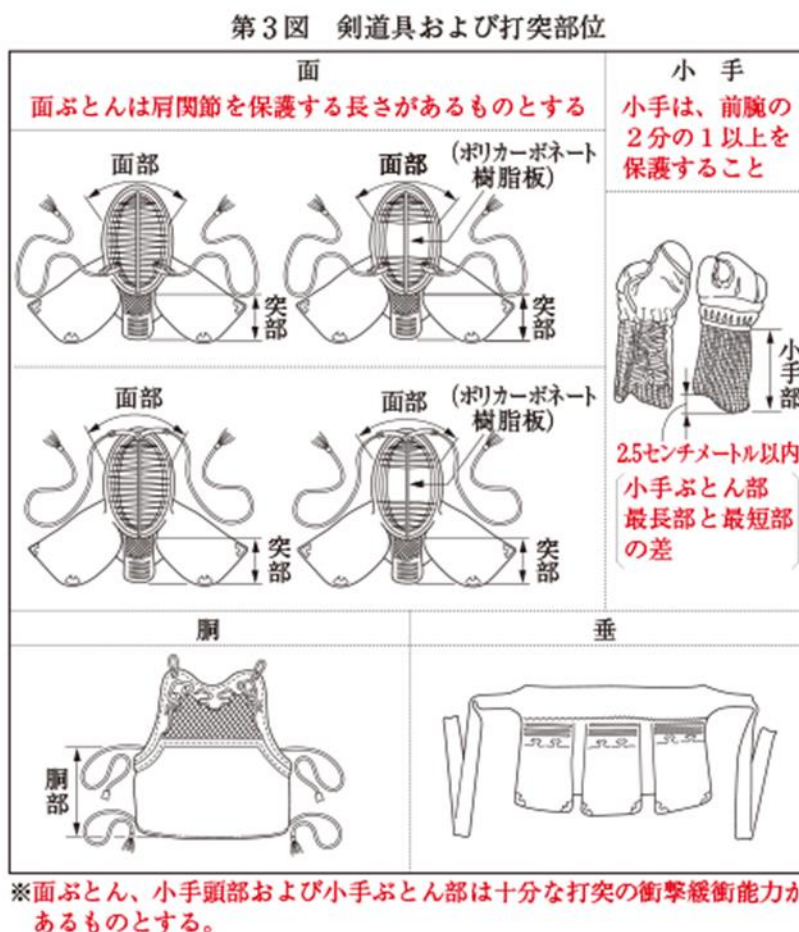
3 面について

面ぶとんは、安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。(下記 第3図参照)

4 小手について

小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の2分の1以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があること。

小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5センチメートル以内とする。(下記 第3図参照)



5 剣道着について

剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保したものとする。(構えたときに肘関節が隠れること。)

別紙

参加者チェック表（剣道・居合道・杖道共通）

※行事参加当日受付で提出ください。

氏名	年齢	住所	電話番号	当日体温

（下記は該当に○を記載）

《参加見合わせ、チェック項目》		あり	なし
1	体調不良 （例：発熱・味覚障害・咳・咽頭の違和感や痛み・頭痛などの症状）		
2	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方		
3	新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触		
4	過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該居住者との濃厚接触		

※上記「あり」に○のある方は、参加の見合わせをお願いします。

下記は、確認後✓してください。

《携行品、チェック項目》		確認✓
1	マスクの携行（剣道は、面マスク・普通マスクの2種類）	
2	除菌液を持参	
3	個人専用タオル・手拭いの持参	
4	水分補給及び塩分補給できるものを持参	
5	ビニール袋（使用済み手拭い・マスクの収納用）	

《遵守事項、チェック項目》		確認✓
1	手指の洗い、うがい（到着時・終了時）	
2	前後・左右に十分な間隔（1m～2mの間隔、密の防止）	
3	不必要な会話、大声での会話の禁止	
4	施設内で唾や痰を吐くことを極力回避	
5	用具の点検と除菌の励行	
6	マスクの着用（剣道の面を装着しない場合は不織布マスク可）	
7	参加者・運営関係者以外は立ち入り禁止	

《報告事項》		確認✓
○	参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の報告	

※主催の責任者（事務局を含む。）へ速報

※各地区剣連及び地区の団体主催の行事で感染報告を受けた場合は、県剣連（083-932-5072）へ速報